

2023年8月25日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



## 三菱重工業株式会社が発行するトランジションボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、三菱重工業株式会社が発行するトランジションボンド<sup>(注1)</sup>(5年債・100億円、以下 本社債)の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

三菱重工業株式会社は、社会の進歩に貢献するものづくり企業として、社会・産業インフラを支える製品・技術を世界に提供し、地球規模の課題解決に取り組んでいます。中でも、エネルギー供給側で脱炭素化を目指す「エナジートランジション」と、エネルギー需要側で脱炭素・省エネ・省人化を実現する「社会インフラのスマート化」を成長領域に定め、脱炭素分野での幅広い実績と先進技術への取り組みを誇るリーダーとして、日本そして世界のカーボンニュートラルに資するプロジェクトの推進を加速しています。

本社債は、2022年9月に発行された「第1回三菱重工トランジションボンド」に続く三菱重工業株式会社にとって2回目の起債であり、ICMA クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック 2020、ICMA グリーンボンド原則 2021、LMA・APLMA・LSTA グリーンローン原則、金融庁・経済産業省・環境省クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針(2021年5月版)、環境省グリーンボンドガイドライン 2020年版、及び環境省グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020年版に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関である DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社より適合性について評価を取得しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界の ESG 投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金用途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESG をテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	三菱重工業株式会社第 42 回無担保社債(社債間限定同 順位特約付)(第 2 回三菱重工トランジションボンド)
発 行 年 限	5 年
発 行 額	100 億円
利 率	0.459%
発 行 日	2023 年 8 月 31 日
償 還 日	2028 年 8 月 31 日
資 金 使 途	適格事業・プロジェクト(「既存インフラの脱炭素化」、「水 素エコシステムの実現」、「CO <sub>2</sub> エコシステムの実現」)に関 連する新規投資及び既存投資のリファイナンス
取 得 格 付	AA-(株式会社日本格付研究所)
主 幹 事	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 みずほ証券株式会社 野村証券株式会社 大和証券株式会社 SMBC 日興証券株式会社 BofA 証券株式会社 ゴールドマン・サックス証券株式会社

(注 1) トランジションボンドとは、パリ協定の実現に向けた中長期的な移行戦略(トランジション)があり、かつ資金途  
限定の債券

※SDGs 債ロゴについて:SDGs 債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs 債とは、調達  
資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券や、SDGs の実現に貢献する KPI 設定/SPTs 達成型の性質  
を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿  
った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示  
が適切になされている債券が含まれます。

以 上